

■ (R20→) R21の主な変更点です。

- ①入力説明sht :
 - ・サーベイランス申請時に、認定済規格と「技術的に同等規格(IDT)」を追加申請することを可能としました。(追加料金は「VE-130:2023」を参照)
 - ・試験規格入力shtへの入力時の注意事項として「注4」を追記。
- ②添付資料sht : 「サーベイランス+変更審査」を申請時は両資料を提出します。
- ③表紙sht : 「サーベイランス+変更審査」を選択可能にしました。
- ④基本情報入力sht : VLAC記入欄に変更審査のチェックBoxを追加。
- ⑤試験区分入力sht :
 - ・5.4項に「電源線上の過渡妨害のエミッション」を追加。(42行目)
 - ・6.2項に「トリッププレート」を追加。(68行目)
- ⑥試験規格入力sht向けに、別紙「VF100-2023_Separate sheet」を準備しました。

● 入力説明sht

VLAC-VF100:2023(R21)	発行年月日:2023年02月15日	
・試験場が複数ある場合(枝番を有する場合はVF100は枝番単位で作成します。「表紙」シートは同じ記述になります。従試験場が単独で拡大申請を行う場合は、表紙は主試験場と当該従試験場を併記します。 ・更新審査時は認定拡大を同時に申請できます。従前規格と拡大規格は「試験規格入力」シート内のプルダウンメニューで区別します。認定拡大審査が終了するより前に、更新審査を申請する場合は、更新VF100は拡大VF100の内容を含めて作成します。 ・サーベイランスと同時期に認定拡大(MODを含む)を希望する場合は、拡大申請書をサーベイランス申請書とは別に提出して下さい。 ・サーベイランス審査時に認定済規格と「技術的に同等規格(IDT)」を追加する場合は表紙shtの「変更審査」も申請します。(R21) 追記		
・本シートは「試験区分入力」「試験規格入力」の各シートに記入する際の注意事項を記述しています。規格番号の誤記は本Bookではエラー抽出できません。十分に点検して下さい。(受付できない場合があります。)(R21) 修正		
・さいごに表紙シートの申請内容チェックボタンを押して下さい。エラー表示があると受付できません。		

(中略)

試験規格入力説明

下記に記載された試験区分分の中で認定の対象となる規格を入力してください。 入力箇所は原則、各試験区分ごとに自由記述方式で統一しています。(チェックBox(☑)を選ぶのは一部のみです。)		
・申請する規格の「版/発行年」をご記入下さい。シリーズ規格を記載する場合は必要に応じて別紙を提出して下さい。これらの版数/年次が申請時に最新版か否かを確認して下さい。(最新時は「最新」列は「○」を選ぶ。) 認定証は規格版数が最新版の場合は記載を省くことがありますが、「版/発行年」の記述をその確証とします。(R21) 修正		
<注1> 申請受付後に「版/発行年」の記載漏れや誤記が判明した場合は、後日、VF100へ追記、または別紙を提示して下さい。 <注2> 現地審査期間中に申請規格に変更があった場合も、VF100へ追記、または別紙を提示して下さい。 <注3> サーベイランスVF100に記載する「版/発行年」は、サーベイランス申請時ではなく、発行済み認定証の記載内容を転記して下さい。		
<注4> 試験規格入力shtのセルをコピーではなく切り取りで移動した場合は、元のセルが削除されたのと同じ挙動をします。その場合はエラーチェック時に「参照先がない」為のエラーが生じます。ご注意ください。(R21) 追記		
・除外事項や限定事項があれば、規格番号に併記するか、試験規格入力shtの備考欄に記述して下さい。 以下は No.14 ~ No.25 の記述例です。尚、表中の(*N)は本sht向けの注記です。		

(後略)

● 添付資料sht

認定変更 [注1]		
・「VLAC-VR100A:2022 試験所の認定に関する規定」の9.1章を参照。 [注1] 現認定証に技術的に同等な試験規格(IDT)を追記するケースに限定する。(R21) 加筆 [注2] 技術的に同等である確証がとれない場合は、「認定拡大申請」を行って頂きます。		
[注3] サーベイランス申請書(+認定変更申請書)により申請することもできます。(R21) 追記		
<input type="checkbox"/> ① 認定申請書 (VLAC-VF100)	※「試験規格入力sht」は従前規格(○印)と追加規格(●印)を交互に記述する。	
<input type="checkbox"/> ② 拡大・変更時に必要な資料	※従前規格と追加規格が技術的に同一であることを示す確証を提出する。	

● 表紙sht

「サーベイランス+変更審査」を選択可能にしました。

VLAC-VF100: 2023(R21)

発行年月日: 2023年02月15日

西暦 2023 年 2 月 15 日

株式会社 電磁環境試験所認定センター 殿

試験所認定・サーベイランス審査申請

新規認定・認定更新・認定拡大・認定変更申請書

初回サーベイランス・サーベイランス申請書

申請内容チェック

- (申請種別) 新規認定審査 (〈注〉ボタンを押す)
- 認定番号 第VLAC-_____号の認定の更新審査
- 認定番号 第VLAC-_____号の認定拡大(*1)
- 認定番号 第VLAC- 001 号の変更審査(*1)
- 認定番号 第VLAC-_____号の初回サーベイランス審査(*1)
- 認定番号 第VLAC- 001 号のサーベイランス審査(*1)

Microsoft Excel



申請内容にエラーはありません。

OK

(*1)認定番号の枝番は記入不要です。枝番は下記の試験場名称記入欄の()に入力してください。

審査費用は貴社の請求書に従い指定金融機関に振り込みます。

● 基本情報入力sht

4 英文認定証: 要 不要

〈注〉拡大審査を書類審査のみで行う場合は備考欄に理由記述。

〈注〉サーベイランスは英文認定証「不要」になります。

〈注〉変更審査は英文認定証「要」になります。

VLAC 記入欄	受付日	受付番号	管理費 区分	基本 単位	追加 単位	内部 校正	認定範囲の 品質システム	備考
	現地審査: <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	審査員数: 人	審査日数: 日	変更審査: <input type="checkbox"/> 有				

● 試験区分入力sht 従前は備考欄に記入頂いていたSub区分2件を、☑ に追加しました。

複数の試験場がある場合はこのファイルを試験場毎に作成してください。

Table with columns: 試験場名称, 試験場管理責任者名/所属 (名前, 所属), E-mail, 電話番号, 事務局記入

注1: 下記に記載された試験区分の中で認定の対象となる区分を全てチェックしてください。

注2: 「要付属書」の記載がある試験区分は、試験を実施する設備毎に該当する付属書を提出する。付属書の記載内容は「VE-107」を参照。

5. 試験区分一電磁両立性 エミッション

5.1. 放射妨害波 (エンクロージャーポート)

(中略)

5.4. DC電源ポート伝導妨害波試験

要付属書

妨害波電圧試験

AMN

高インピーダンスプローブ

車載機器伝導妨害波試験

電源線上の過渡妨害のエミッション

5.5. PLCポート伝導妨害波試験

(中略)

6.2. 放射電磁界

放射電磁界イミューニティ試験(擬似自由空間アンテナ放射)

要付属書

電波暗室

測定周波数範囲: _____ ~ _____

FARIによる試験

測定周波数範囲: _____ ~ _____

車載用機器

測定周波数範囲: _____ ~ _____

近接電磁界イミューニティ試験

測定周波数範囲: _____ ~ _____

要付属書

放射電磁界イミューニティ試験(TEMセル、ストリップライン、トリプレート)

要付属書

TEMセル

測定周波数範囲: _____ ~ _____

ストリップライン

測定周波数範囲: _____ ~ _____

トリプレート

測定周波数範囲: _____ ~ _____

放射電磁界イミューニティ試験(反射箱)

要付属書

リバレーションチャンバー

測定周波数範囲: _____ ~ _____

(後略)

● 別紙「VF100-2023_Separate sheet」 (試験規格入力sht)



別紙1 「EMC・他」向け

別紙2 エミッション、イミューニティ、電源高調波に共通の「医療機器のシリーズ規格」

別紙3 「製品安全」向け専用

別紙1

Main specification table with columns: 規格番号, 版/発行年, 規格番号, 版/発行年, 最新, and備考欄. Includes revision rules and table headers for certification.